

科目名	アーツマネジメント	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	菅原 真弓（文）
英語表記	Arts Management						

● 科目の主題

劇場の公演や美術館の展覧会、そして音楽会。こうした文化施設で行われる事業に加え、それ以外の芸術文化活動を含めた活動を、広く社会に発信していくための「仕組み」＝方法論をアーツマネジメントという。近年は演劇や美術、音楽などのファインアート（ハイアート）分野にとどまらず、広い意味での創造活動を発信する方法論をも指す言葉となった。地域活性化（まちづくり）の手法としても活発に行われている。本講義では、この言葉が欧米において登場した経緯から日本への流入、そして日本での独自の発展までを、事例を挙げながら学んでいく。

● 授業の到達目標

アーツマネジメントに関する実践的な知の習得を目標とする。但し、必ずしもアーツマネジメントの実践者を養成するための学びには限定せず、この学びを通じて、自らの学問的専門分野に生かせる気づきを得、自らの視野を広げるための眼を養ってもらいたい。

● 授業内容・授業計画

美術館学芸員であった経験を基に、主に美術分野における様々な事例を挙げて詳説する。美術館での教育普及事業やイベント、地域アートプロジェクトやこれらと観光との接点（アートツーリズム）について、またこれに加えて、地域活性化の手法としてのアーツマネジメントなども併せて紹介する。後半はグループワークを実施し、グループでの企画を構想し、プレゼンテーションを行ってもらう。

- 第1回 インTRODクシヨN:アーツマネジメントとは何か
- 第2回 「アーツマネジメント」の登場と日本への流入
- 第3回 日本におけるアーツマネジメントのはじまり:芸術文化支援制度の整備
- 第4回 狭義のアーツマネジメント:美術館で行う事業を例に
- 第5回 広義のアーツマネジメント:芸術文化の社会への発信

- 第6回 キーワードは「連携」:文化庁芸術文化振興基金のテーマ変遷を踏まえて
- 第7回 地域におけるアートプロジェクトの事例
- 第8回 外部講師によるレクチャー:アートプロジェクトの事例
- 第9回 外部講師によるレクチャー:地域資源、地域産業遺産とその活用
- 第10回 外部講師によるレクチャー:アートプロジェクトと地域活性化
- 第11回 地域アートプロジェクトを作る! :グループワークの趣旨説明とグループ分け
- 第12回 地域アートプロジェクトを作る! 2:グループワーク
- 第13回 地域アートプロジェクトを作る! 3:グループワーク
- 第14回 地域アートプロジェクトを作る! 4:プレゼンテーション準備およびプレゼンテーション
- 第15回 地域アートプロジェクトを作る! 5:プレゼンテーション、まとめ

● 事前・事後学習の内容

まずは「アーツ（アート）マネジメント」という言葉がどのように用いられているのか、インターネットなどで調べてみて欲しい。そして身近な場所で行われているアーツマネジメントの実例を、授業外で自主的に見学したり、参加したり、といった経験を積んでほしいと願っている。

● 評価方法

小レポート（3回程度）とグループワークの成果をもって評価する。グループワークの成果とは①グループワークでの発言など参加度②プレゼンテーションに用いるレジюмеとこれをまとめたレポートを指す。

● 受講生へのコメント

講義ではあるが、後半はグループワークを実施するので、自主的主体的な授業参加を求める。また日ごろからアートプロジェクト等に関心を持ち、文化施設に赴いてみることを希望する。

● 教材

授業内で紹介する。